

花のチカラ 緑のココロ

2011年 夏号

第10回園芸福祉シンポジウム in 名古屋 開催!

名古屋市中区で6月18日(土)に「震災復興に向けて 園芸福祉のできることをテーマとしたシンポジウムが開催されました。

第1部 園芸福祉の社会貢献

基調講演

中越地震被災者の復興と農園芸
五十嵐 豊氏

(新潟県長岡市山古志支所産業建設課)



中越地震で被災された旧山古志村の人たちの仮設住宅での花の植栽や、生きがい健康農園での野菜づくりが、再建した村

に戻った後に特産品や、農産物直売所、農家レストラン、農家民宿の経営などに開花し、地域コミュニティづくりにも良い影響を与えたことなどのお話をいただきました。

パネルディスカッション

“復興に向けて園芸福祉のできることを”
コーディネーター

吉長成恭氏(日本園芸福祉普及協会)

パネリスト

五十嵐豊氏(前出)

齋藤徳子氏(うつくしま園芸福祉の会事務局)

田村 亨氏(花と緑と健康のまちづくりフォーラム)

現在被災者の避難所となっている福島市の体育館で園芸福祉活動を行っている齋藤さんから、被災者が自主的に公園の草取りに参加してくれているお話を始め、被災直後から花や植物は求められていること、カウンターパートの重要性、何が出来るかを発信していないと求める側も困

るなど、活発な意見交換が行われました。また、福岡西方沖地震の仮設住宅でのゴーヤの日よけ事例の紹介や、震災1ヶ月後に宮古市で被災者市民と支援者共同で花の植栽を行った事例等も紹介されました。



第2部 園芸福祉の多様な活動

活動報告・発表

愛知県と三重県で実践している活動5例をパワーポイントで紹介していただきました。

- ①高橋 律氏(三重県):正寿会利用者の自立支援について
- ②相可高等学校生(三重県):ハンドクリームプロジェクト
- ③伴 和彦氏(愛知県):愛知県農業分野の障がい者雇用普及事業
- ④尾澤千隆氏(愛知県):ワイルドフラワーガーデンブルーボネットにおける活動
- ⑤竹内建吾氏(愛知県):知多市 緑と花のまちづくり計画

休憩時間には、被災地支援のチャリティバザーも開かれ、花苗や本、押し花グッズ、高校生のハンドクリーム等を参加の方が購入されていました。



震災復興に向けての園芸福祉宣言

最後に、次の「震災復興貢献の誓い」がシンポジウム参加者の満場一致で承認されました。

震災復興貢献の誓い

私たちは『花や野菜を育てて、皆で幸せになろう』の声の基に集い、10年間で日本全国に多くの賛同する仲間を得、花や野菜づくりなどの園芸の持つ効用を福祉や健康、教育、まちづくりなどに活かす活動を行ってきました。

2011年3月11日に東日本を襲った巨大地震と津波は、未曾有の大被害をもたらしました。人々の幸せを求める私たちの心は、悲しみでいっぱいです。

今回の地震と津波、そして原発事故がもたらした被害と余波は、私たちの生活のみならず、世界中の人々の価値観やライフスタイルまで変えようとしています。

被災地や被災された方々に、園芸福祉活動でできることは少しだけかも知れませんが、しかし、私たちは、花のチカラを信じ、緑のココロと人の和を持って、被災された方を勇気づけ、地域復興の一助を担う努力を行って参ります。

そして、ここに誓います。

一、私たちは、豊かな恵みの大地が蘇るよう、花と緑で未来を創ります。

一、私たちは、生命の源大海原が蘇るよう、花と緑で未来を創ります。

一、私たちは、ともに生きる同胞の笑顔と希望が蘇るよう、花と緑で未来を創ります。

2011年6月18日

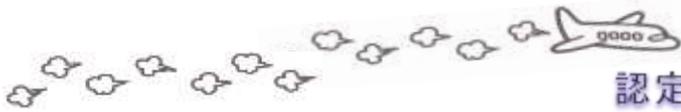
第10回園芸福祉シンポジウム in 名古屋参加者一同

誓いの具体策として、当面以下のことを行います。

1. 園芸福祉の福島県組織「うつくしま園芸福祉の会」を始めとする被災者支援活動に協力します。
2. 園芸福祉活動で被災地支援の気持ちを表すため、シンボルフラワーを設定します。
3. 日本園芸福祉普及協会内に被災地支援活動を検討する組織を設け、具体的な支援活動を検討します。
4. 被災地の行政やNPO、市民活動組織などと連携し、園芸福祉活動拠点のネットワーク化を目指します。

通常総会の報告

シンポジウムの前に開催された通常総会では、昨年度の事業報告と収支、今年度の事業計画と予算、役員選任の各議案が承認されました。



認定校訪問 北海道旭川農業高等学校

事務局 粕谷



7月4日に旭川農業高等学校を訪ね、園芸福祉の授業を参観させていただきました。学校は旭川市郊外の緑豊かな環境にあり、生活科学科の2年生20名が学んでいます。授業は、「園芸福祉入門」を使用した座学と、高齢者施設・障がい者施設での実習のほか、農業高校ならではの草花栽培、生物活用、農業農村ライフと多岐を学ぶようです。



参観したのは、第1章の農耕・園芸の効用の座学で、復習を含め8つの効用の半分を1時限かけた丁寧な授業でした。養成講座の座学は急がせ過ぎだと深く反省させられました。担当の先生からは、週2時間の授業で、2年生は座学中心、3年生は実習を行い、コミュニケーション能力の向上にも役立っているとの話をお聞きしました。



園芸福祉活動体験レポート

事務局 塚本

2011年7月13日(水)

世田谷区の上北沢ホームにて



この度、私は事務局を飛び出して、緑 IKIIKI 倶楽部さんの活動に参加させていただきました。皆さんは東京農大で実施された園芸療法の講座を修了された仲間で、当時の施設長さんにボランティアを依頼されたのがきっかけで平成14年から活動を続けているそうです。区から借りた土地の開墾に始まり、畑やプランターの手入れ、利用者さんと植替えや季節のクラフトづくりなどの活動を通して交流を重ねてこられました。また、初級園芸福祉士養成講座を修了されている園芸福祉のメンバーでもあります。

私が伺った日は、隣接する畑の草取りと枝豆の種まきをし、畑に咲いていたラベンダーでラベンダースティックを作りました。それぞれに作業しながらも、野菜や花のことをお互いに聞いたり、相談したりしながら活動しているのが印象的でした。

活動について、園芸福祉士の田畑さんは「皆それぞれに花や野菜の得意分野があり、その知識や知恵をもちよって活動に生かすことで、参加された方にも喜んでもらえて充実感や達成感がある。手入れや活動の準備は大変だけれど、結局はみんな花や野菜が好きで、わいわい楽しく活動している。」と話してくださいました。これまで行ってきた様々な活動の様子を伺うことができ、皆さんの植物に対する愛情や、参加する利用者さんたちへの思いやり、優しさが強く伝わってきました。



2010年度年間活動アンケートのご提出ありがとうございました。

全国各地で様々な活動が展開されていることを、改めて実感いたしました。紙面の関係もあり、ほんの一部ですがご紹介いたします。

4月に鹿児島から岡山に転居した。知り合いのいない中、NPO法人岡山園芸福祉普及協会へ入会したことが大きな変化である。岡山で開催された養成講座の手伝いもさせていただいた。一人ではなく、仲間をつくり活動をすることで生活に深みが出て、生きがいも感じるようになる。園芸福祉活動の効用を実感した一年であった。(岡山県 日野優理さん)

有料老人ホームでの活動は今年度で3年目になります。施設での活動も大分慣れてきました。毎回活動を始める前の施設の方々の『これから何が始まるのだろう?』という期待を込めた“一瞬の眼差し”に喜びを感じながらわずかではありますが役に立てたことをうれしく思います。(神奈川県 徳竹いち子さん)

6月から地元柏市の「公園里親制度」を利用し、近くの公園の世話をしています。(中略)花の水やりや花摘みをしていると「きれいにしてくれてありがとう。」と声をかけてもらえます。(千葉県 杉山厚子さん)

例年と同じ老人福祉施設で花壇の植え替えを行い、非常に感謝されたので今後も続けたい。自治会の親睦会で苔玉教室を開催し、集まったのは40~80代の方々で大変喜ばれた。老人たちに生きがいを感じてもらえる事を今年も考えたい。アート苔玉教室を子育て支援センターで開催した。子供を別室に預け、1.5時間開放され伸び伸びと楽しんでいただけた。若さあふれる笑顔に私のほうがエネルギーをいただきました。また違うことをして下さいと言われてうれしかったです。

(三重県 市川憲子さん)

お知らせ

園芸福祉士資格審査要綱の改定について

初級園芸福祉士の上級資格となる園芸福祉士の資格審査要綱の改定を昨年度末より検討して参りましたが、この度新たな審査要綱が決定いたしました。以下の①~③すべての条件を満たす方が、園芸福祉士資格審査の対象者となります。

- ①初級園芸福祉士の資格更新を1回以上行い、審査申込時点で資格保持者であること。
 - ②園芸福祉活動を2年以上行い、年間活動アンケートを2回以上提出していること。
(ただし、年間活動アンケートは園芸福祉活動を行った報告であること。)
 - ③当協会または地域協力団体の主催或いは共催のシンポジウム、全国大会、初級園芸福祉士実践事例発表会、勉強会、イベント等に1回以上参加していること。(審査申込時に自己申告)
- ※地域協力団体とは当協会の活動趣旨に賛同し、都道府県単位で園芸福祉活動の地域への普及、ネットワークづくり等を進めている団体です。現在、北海道から沖縄まで21団体あります。
- ※旧要綱において獲得された活動ポイントは審査の際に加味されます。

平成23年6月末時点において①②の条件を満たす方へは、審査概要・申込方法等を別途ご案内させていただきます。

本年度は、新たに 330 名の方々が
初級園芸福祉士に登録されました。
自己紹介の中から一部をご紹介します。
認定校の生徒のみなさんは次号で
ご紹介いたします。



私は今まで、造園科の西日本短期大学で学
び、温室で野菜を育てる仕事をしてきました。
現在は精神科の病院で園芸を患者さんと共に
しています。経験を生かし、これからも楽しく
園芸活動ができればと思っています。

(福岡県 女性)



園芸初心者です。冬にはもう終わったかなと
思った草花が春にはまた花をつけ、今ぐんぐん
と成長している姿を見て驚きました。そんな草
花を師に私も打たれ強くなろう。と、思う今日
この頃です。よろしくお願いします。

(広島県・女性)



子どもと関わる仕事をしているので、草花を
キレイと思ったり、植えて楽しいと思ったりす
ることができるような活動をしていきたいと
思います。草花が人に与える力はすごいと思
います。この力を子どもからお年寄り、みんなが
感じる事ができれば、町はきれいになり、笑顔
が増えると思います。私が居住しているマンシ
ョンの敷地を借りて、みんなで草花を育ててい
きたいと思います。(大阪府 男性)



先の 20 世紀は「経済福祉」でありました。
しかしながらその福祉政策の重点の置き方に沢
山の方が疑問を感じ始めていた頃、地震による
福島原発事故が発生し、福島のみならず日本
及び世界全体に甚大な被害を及ぼしました。そ
のような観点から考えても素敵な仲間と豊かな
自然に直接触れ合い続ける事で人々を幸福にす
る「環境福祉」こそ大切ではないかと考えまし
た。そんな活動に、微力ではありますがお手伝
いさせて戴けたらとおもっております。

(愛知県・女性)



「60才は3回目の成人式」をモットーに人
生の新しいステージに足を踏み入れました。
自分に出来る事、楽しい事を心がけながら「植
物と人と笑顔の輪」を広げていきたいと思
います。(奈良県・女性)



日頃から植物に接する事も多く、植物の魅
力や、植物を通しての人との交流を学びたく、
今後も活動していきたいと思っています。

(沖縄県・男性)



試験合格できて嬉しく思います。資格を持
ち、活躍できる場を探しています。子ども達や
お年寄りの方たちとの交流、障害のある方たち
とのふれあいを持ってたらいいなと思います。

(岡山県・女性)



大阪府出身で新潟県の高校教諭をさせてい
ただいています。今回授業との関わりから園芸
福祉を知ることになりました。授業で行った内
容を、地域の方達との交流に発展させることが
できれば生徒も私もどんどん成長できると思
います。この気持ちを持って活動を続けていき
たいです。(新潟県・女性)



有料老人ホームで介護の仕事につき 7 年過
ぎました。興味があった資格が取れ嬉しく思っ
ていますが、正直これからが不安だらけです。
果たして思い通りの提案が職場で活かして行
けるのか？いろいろな方から情報を得て自分
なりに出来る範囲から始めていきたいと思っ
ています。よろしくお願いします。

(千葉県・女性)



老人ホームに勤務しています。利用者さん
と共に施設で花づくり野菜づくりに取り組
んでおります。寝てばかりのお年寄りが「し
んどい～」と言いながらも最後まで作業して
下さることがとても嬉しく、これからも続け
て行きたいと思っています。園芸福祉士として学
んだことを生かしたらと願っています。

(兵庫県 女性)



コラム 市民農園万国記

～市民農園はイギリス生まれ～

事務局長の粕谷です。私は二十数年前から欧州の市民農園を調べ、日本の市民農園の改善等の活動を続けてきました。会報の一面をお借りし、私が訪ね歩いた各国の市民農園について紹介します。第1回目は、市民農園誕生の国イギリスです。18世紀のイギリスの産業革命時期、貧しい人々に行政や教会が土地を貸して自給野菜を生産させたのが市民農園の原点とされ、アロットメント・ガーデン（分区園：以下AG）と呼ばれています。

ロンドンのBank 駅から電車で30分くらいのMudchute 駅で降ります。この辺りはドックランドと呼ばれ、昔造船所がたくさんあった所です。今は再開発により金属とガラスとコンクリートの高層ビルが何本も建てられています。ここにAGとシティファームからなる“Mudchute Park & Farm”という緑地があります。AGは50坪くらいの区画に小さな休憩・道具小屋が設けられ、畑には各種野菜がたくさん育てられています。今では、移民や出稼ぎでイギリスに住む外国人の多くが利用しています。「育てている野菜を見ると利用者の国籍が解る」とAG役員の方から説明がありました。実際、日本人の区画には、シソや大根、長ネギが植わっていました。

もう一つのシティファームですが、“都市の中には農の機能が重要だ！”という考え方から、イギリス各地の都市部で展開されています。ここでは家畜とふれあう機会を都市住民に提供した食育が行われています。摩天楼を背景に、山羊や羊がのんびりと草を食べています。大都市ロンドンの一画に、すばらしい空間が広がっています。是非お立ち寄りください。お薦めです。次回は8月に市民農園国際会議で訪れるデンマークを紹介します。



アロットメントガーデン
の区画と小屋→



←シティファーム
(平岡良宏氏撮影)

求む！各地・各人の活動情報

地域組織や個人の園芸福祉活動の情報を事務局宛にお送り下さい。また、下記ホームページやブログのアドレスにご連絡ください。会報などはPDF ファイルを添付してメールしていただければ皆様に広報させていただきます。

HP アドレス：<http://www.engeifukusi.com/>

mail アドレス：kyoukai@engeifukusi.com

事務局の日々を綴ったブログ

『花のチカラ★緑のココロ』見てください↓

http://blogs.yahoo.co.jp/kokoropokapoka_share_relief/



正会員を募集しています

日本園芸福祉普及協会は、NPO法人です。NPO法人は、正会員で成り立つ組織です。協会の正会員の内70%以上の方は、初級園芸福祉士の資格を取られた後に正会員になられた方達です。

多くの方に正会員になっていただき、協会運営にお力添えをお願いいたします。

会報の名称決定

前号で名称を募集いたしましたところ、貴重なご意見を多数いただきました。このご意見をもとに検討した結果「花のチカラ🌱緑のココロ」を会報の名称とすることにいたしました。

編集後記

事務局にきて早9か月。たくさんの出会いに心から感謝しています。ブログを書くにあたり、無知な自分がかっかりしつつ、花のことを調べては新しい発見に胸躍らせています。今号は園芸福祉の活動をより身近に感じていただけるよう、いろんな“声”を大事にしました。届いてくれたら嬉しいです。

塚本



NPO 法人日本園芸福祉普及協会発行

〒162-0063 東京都新宿区市谷薬王寺町 58

Tel:03-3266-0666 Fax:03-3266-0667